

あなたのまちの国有林

沖縄中南部流域における国有林野事業の取組



阿波連ビーチ



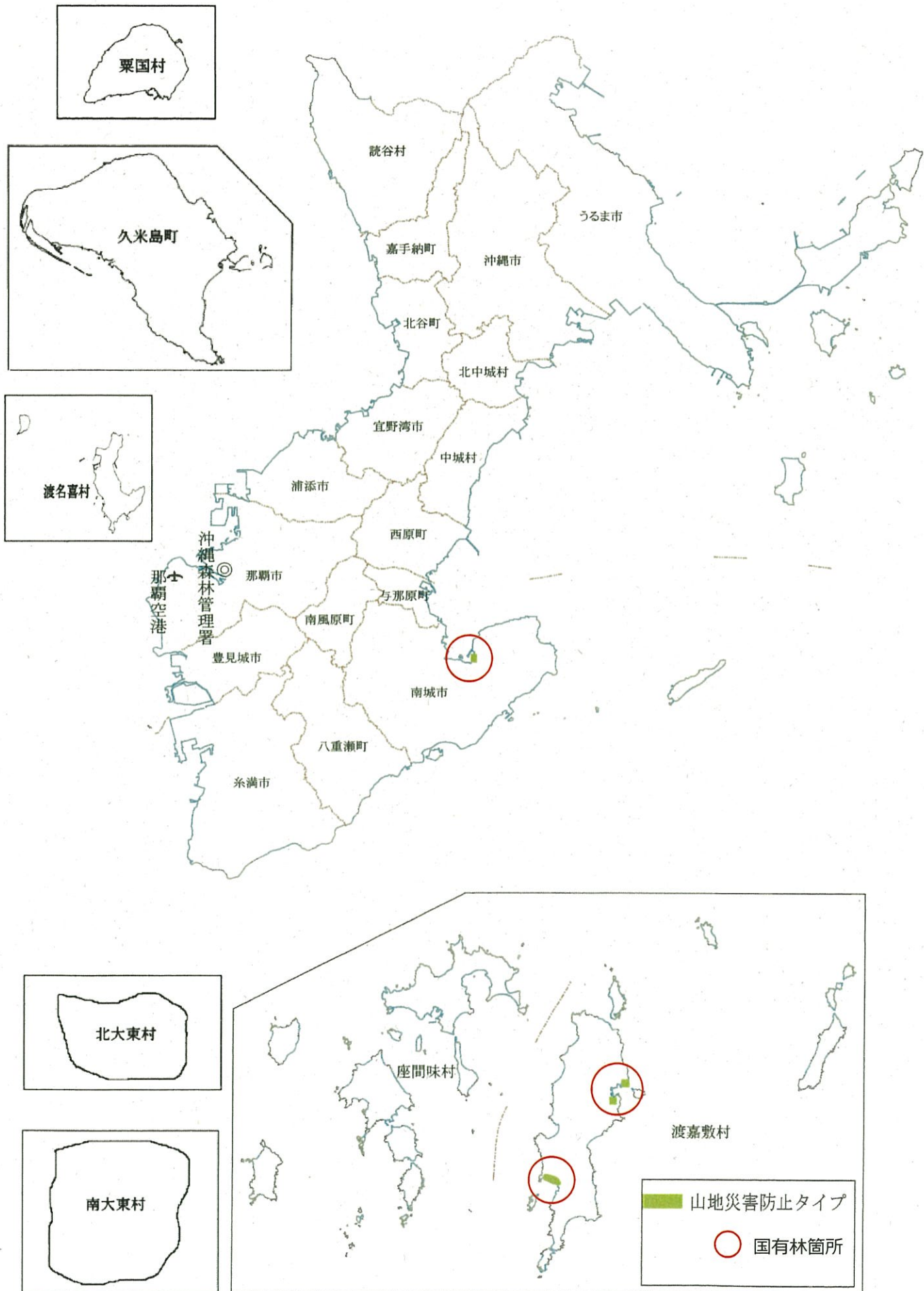
植樹祭の様相（阿波連地区）

九州森林管理局

沖縄森林管理署



沖縄中南部流域の機能類型別森林位置図



沖縄中南部流域の概要

1.流域の概況・特色



テップウユリ

(1)位置及び面積

本流域は、琉球列島の中央部北緯25度30分～26度40分、東経125度40分～131度20分に位置し、沖縄本島中南部及び慶良間諸島、久米島、南北大東島およびこれら周辺に介在する大小の島々からなる区域で総土地面積63,353ha、県土の28%を占めています。

本流域の森林面積は13,203haで流域総面積の21%となっています。

(2)地 勢

本流域に広く分布する波状台地は、南西ないし北東の方向を持つ断層によって形成され、台地の北及び東側に断層崖をもっています。また、台地上には比謝川、天願川、国場川、饒波川のような流路の長い河川が発達しています。

離島においては、久米島では、大岳(231m)、阿良山(287m)を中心に、丘陵台地及び段丘沖積低地が島の東側に、カルスト台地が西側に発達しています。慶良間諸島は山地で、浅い入り江に沿って小面積の谷底低地が分布し、南北大東島やその他の離島はほとんど平坦地です。

(3)気 候

本流域の気候は亜熱帯海洋性気候に属し、年平均気温は約23度、年平均降雨量は2,500mm前後と温暖多湿です。また、夏から秋にかけて襲来する台風と冬季の季節風は、農林業等に多大な潮風害をもたらしています。

(4)流域の特色

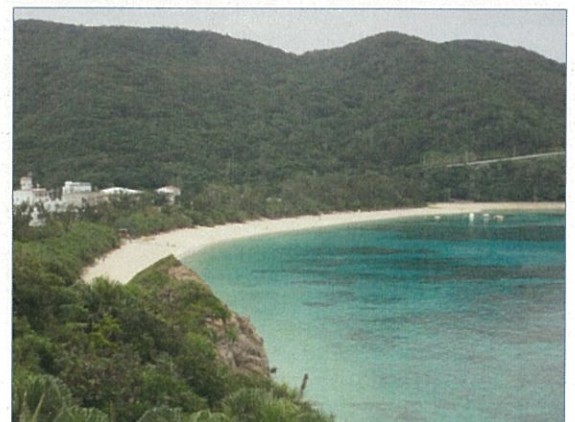
流域の人口は、約1,184千人で、沖縄県総人口のおよそ8割を占め年々増加していますが、その大部分は本島中南部に集中しており、慶良間諸島など周辺地域では減少傾向にあります。

那覇市をはじめとする、本県の経済・産業の中心地であるため、交通体系は他の流域に比べよく整備されています。国道58号、国道329号、国道330号が縦断しており、その他国道、県道、市町村道が整備されていますが、年々激化する交通渋滞の緩和が課題となっています。

産業構造は、第3次産業を主体としており、本県最大の都市、那覇市を中心に沖縄市、浦添市等が偏在し、県経済の中心的役割を果たしています。第2次産業は建設業の比重が高く、第1次産業は野菜、花き、さとうきび等のほか畜産などの農業が主体となっています。



佐敷国有林81い林小班(潮害防備保安林)



阿波連国有林82い林小班(潮害防備保安林)

2. 国有林の概況・管理経営

流域内の国有林野は約39haで、要存置林野約2ha(南城市・渡嘉敷村)、不要存置林野約36haとなっています。森林の現況は天然生林が約2haとなっており、主な樹種としては、オオハマボウ、アダン等となっています。林相別に見ると広葉樹林が約2haとなっています。本流域の慶良間諸島は平成26年3月に慶良間諸島国立公園に指定され、海浜はケラマ・ブルーの名で観光スポット等としても多くの人々に利用されています。

本流域は台風等の常襲地でもあることから、気象害防備エリアとして国土の保全その他国有林野の有する公益的機能の維持増進に重点を置くこととしています。



慶良間諸島国立公園

○林野庁では、公益重視の管理経営の一層の推進を図るため、「(図)」の5タイプに区分し、公益林として適切かつ効率的に管理経営しています。

本流域は山地災害防止タイプに区分しています。

(図)

機能類型区分	機能類型区分の考え方	管理経営の考え方
● 山地災害防止タイプ	災害に強い国土基盤を形成する観点から、山地災害防止及び土壌保全機能の発揮を第一とする森林	根や表土の保全、下層植生の発達した森林の維持
● 自然維持タイプ	生態系としての森林の重要性を踏まえた観点から、原生的な森林生態系や希少な生物の成育・生息する森林など属地的な生物多様性保全機能の発揮を第一とする森林 (本流域内でこのタイプに区分した国有林はなし)	良好な自然環境を保持する森林、希少な生物の成育・生息に適した森林の維持
● 森林空間利用タイプ	保健、レクリエーション、文化機能の発揮を第一とする森林 (本流域内でこのタイプに区分した国有林はなし)	保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林の維持・造成
● 快適環境形成タイプ	騒音、粉塵等から地域の快適な生活環境を保全する観点から、快適環境形成機能の発揮を第一とする森林 (本流域内でこのタイプに区分した国有林はなし)	汚染物質の高い吸着能力、抵抗性がある樹種から構成される森林の維持
● 水源かん養タイプ	良質な水の安定供給を確保する観点から、水源かん養機能の発揮を第一とする森林 (本流域内でこのタイプに区分した国有林はなし)	人工林の間伐や伐期の長期化広葉樹の導入による育成複層林への誘導等を推進し、森林資源の有効活用にも配慮

南城市の国有林

平成18年に、1町3村(佐敷町・知念村・玉城村・大里村)の合併によりできた南城市は、沖縄本島南部の東海岸、那覇市から南東へ約12kmに位置し、静穏な中城湾と太平洋に面しています。東西18km、南北8kmの広がりを持ち、面積は49.70km²で、北は与那原町、西は南風原町、八重瀬町にそれぞれ接しています。西側を除く三方が海岸線に接し、東部の海岸側は比較的平地が多く、海岸線に沿って集落が形成され、南部の海岸側は、台地上の地形に集落が形成されています。



富祖崎地区における管理経営

富祖崎地区(佐敷国有林81林班い小班)

富祖崎地区は、南城市佐敷富祖崎の海岸沿いにあり、81林班は気象害防備エリアとして山地災害防備機能の発揮が期待されることから「山地災害防止タイプ」に区分し管理経営を行うこととしています。これらの国有林野の管理は高江森林事務所が担当しています。



▲富祖崎地区の保安林



ニライカナイ橋



ハイビスカス(市の花)



▲知念岬公園



▲あざまサンサンビーチ

渡嘉敷村の国有林

渡嘉敷村は、那覇市の西方32kmの東シナ海に位置し、慶良間諸島の中で一番大きな島である渡嘉敷島(南北9km、東西2.8km、周囲25km、面積15.8km²の南北に細長い島)のほか前島、神山島、ナガンヌ島、黒島、儀志布島など大小10余の無人島を含めて、総面積19.18km²で形成されています。

渡嘉敷島は、中央部から北側にかけて200mを越す山々が連なり、その間にあるわずかな低地に渡嘉敷集落が形成されています。島の南側にかけてはだんだんと低くなっており南向きに開けたビーチの近くには阿波連集落が形成されています。中央の低地を除けば、山の急斜面や絶壁が海に迫り、険しい海岸線の所々に砂浜が形成されリーフが広がっています。海から望むと山がちな渡嘉敷島は中央部に阿良利山(海拔210.5m)、北に赤間山(227.3m)など、山深く溪谷が多いため水量が豊かで、古くから稲作が行われてきました。

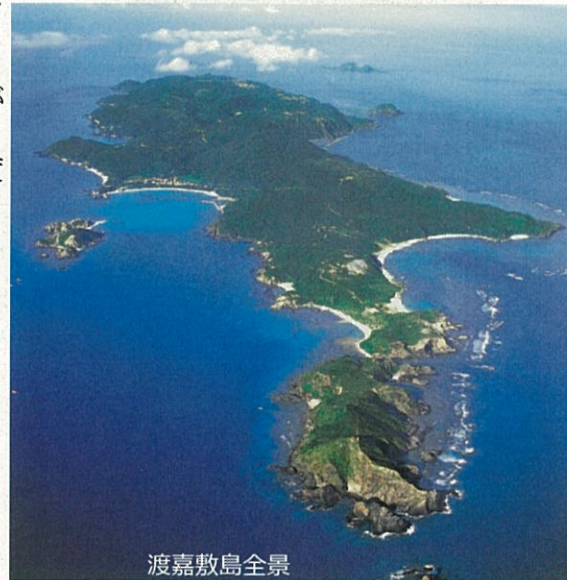
平成26年には世界有数の海の透明度を誇り、高密度に生息する約250種の多様なサンゴやザトウクジラの繁殖地であることなどが高く評価され「慶良間諸島国立公園」に指定され国際的にも貴重な海域となっています。



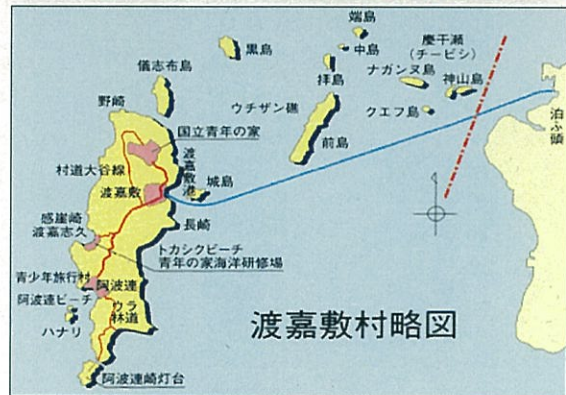
ケラマツツジ(村の花)



▲渡嘉敷地区(役場所在地)



渡嘉敷島全景



渡嘉敷村略図



▲稲作地帯



▲阿波連のサンゴ



▲クバ(村の木)

阿波連・渡嘉敷地区における管理経営

阿波連国有林(82林班い小班)・渡嘉敷国有林(82林班ろ、は小班)

阿波連地区は渡嘉敷島の中心部から南に位置し、阿波連ビーチ沿いの海岸線地域にあります。この地区は慶良間諸島国立公園に指定されており、観光客が多く、その景観の保持と気象害防備エリアとして山地災害防止機能の発揮が期待されることから「山地災害防止タイプ」に区分し管理経営を行うこととしています。

渡嘉敷地区は渡嘉敷島の中心部から北に位置し、フェリー乗り場の近隣地域にあります。渡嘉敷島の玄関口であり、その景観の保持と気象害防備エリアとして山地災害防止機能の発揮が期待されることから「山地災害防止タイプ」に区分し管理経営を行うこととしています。これらの国有林野の管理は高江森林事務所が担当しています。



▲阿波連地区の保安林



▲保安林の整備状況(阿波連地区)



ガンバイハマヒルガオ



▲渡嘉敷地区

沖縄中南部流域の国有林のデータ

1. 市町村別・機能類型別・林地面積

(単位：ha)

区分	山地災害防止タイプ			自然維持タイプ		森林空間利用タイプ		快適環境形成タイプ	水源涵養タイプ	合計
		うち、土砂流出・崩壊防備エリア	うち、気象害防備エリア		うち、保護林		うち、レクリエーションの森			
合計	2	—	2	—	—	—	—	—	—	2

(単位：ha、m)

区分	人工林	天然林	その他	合計
面積	—	2	—	2
蓄積	—	113	—	113

森林事務所	関係市町村	要存置林野		不要存置林野面積	官行造林地面積
		面積	関係林小班		
高江	南城市	0.30	81い	0.32	
	渡嘉敷村	2.17	82い、ろ、は	16.97	
	久米島町	—		15.01	
	うるま市	—		0.54	
	座間味村	—		3.45	
合計		2.47		36.29	

2. 計画事業量（平成28～32年度までの5年間分）

伐採	区分	主伐	間伐	計		
	数量(m ³) (ha)	—	—	—		
更新	区分	人工造林	天然更新	計		
	数量(ha)	—	—	—		
保育	区分	下刈	つる切	除伐	枝打	ぼう芽整理
	数量(ha)	—	—	—	—	—
治山	区分	除伐		備考		
		数量(ha)				
	防災林造成	1.68		除伐外、木製防風柵及び植栽工		
林道	区分	開設		改良		
		路線数	延長量(m)	箇所数	延長量(m)	
	数量	—	—	—	—	

3. 保護林

種類	名称	面積(ha)	位置	指定理由
該当なし				

4. 緑の回廊

種類	名称	面積(ha)	位置	指定理由
該当なし				

5. レクリエーションの森

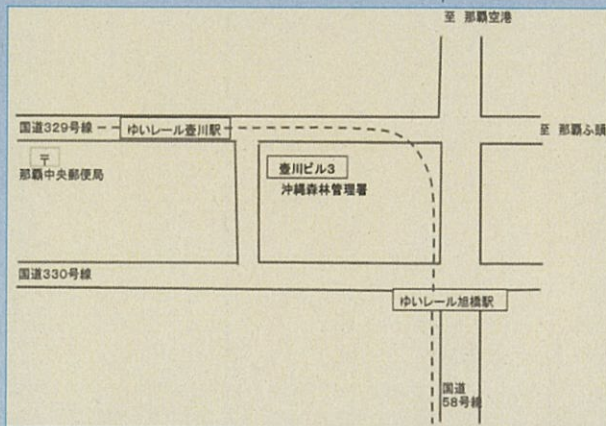
種類	名称	面積(ha)	位置	特徴
該当なし				

6. 保安林・自然公園等の面積

種類	森林の所在		面積(ha)
	市町村	区域(林斑)	
潮害防備保安林	南城市	81	0.30
	渡嘉敷村	82	2.17
	総数		2.47
国立公園 第3種特別地域	渡嘉敷村	82	1.68
	総数		1.68



沖縄森林管理署



局・署・森林事務所の所在地等

名 称	所 在 地	電話番号等
九州 森林管理局	〒860-0081 熊本市西区京町本丁2-7	電 話 050-3160-6600 FAX 096-355-3891
沖 縄 森林管理署	〒900-0025 那覇市壺川3-2-6壺川ビル3階	電 話 050-3160-6260 FAX 098-918-0211
高 江 森林事務所	〒905-1201 国頭郡東村字高江466-1	電 話 0980-43-2123 FAX 同上
大 原 森林事務所	〒907-1434 八重山郡竹富町字南風見201	電 話 0980-85-5308 FAX 同上
租 納 森林事務所	〒907-1542 八重山郡竹富町字西表689	電 話 0980-85-6201 FAX 同上

九州森林管理局ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kyusyu/>

(森林管理署等のホームページは、九州森林管理局のホームページからご覧いただけます。)

